

令和4年度事業報告

ウィズコロナから行動制限緩和に向けた変化に伴い、海外往来の再開と在留外国人数の増加がみられました。地域日本語教育の体制づくりでは関係者連絡会議に県内全44市町村中38市町村が参加するなど取り組みが広がりました。ワールドキャラバン事業では昨年度比1.4倍の講師派遣回数となりました。フランス語講座、世界の料理ミーティングなど新規取り組みも実施しました。このほか、ウクライナ避難民支援、海外での水害や地震災害への義援金募集など、国際協力活動も行いました。

1 共に目指す多文化共生社会づくり

(1) 外国人が安心して生活できる環境の整備

① コミュニケーション支援

外国人が生活していく上で県民としての様々な情報が得られるよう、多言語によるホームページ、フェイスブックや外国人支援図書など多様な媒体により情報提供を行いました。

- ・対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、シンハラ語（11言語）

また、外国人が身近で日本語を習得する機会が得られるよう、日本語教室の開講・運営について支援しました。

◇多言語でのホームページ、フェイスブックなどにより情報を提供しました。

- ・情報発信件数 259件
- ・ホームページアクセス数（日本語及び多言語） 78,968件

◇外国人の日本語学習の支援

（公財）茨城県国際交流協会日本語教育アドバイザー派遣事業により、日本語教授法講座を実施するボランティア日本語教室を支援しました。

- ・アドバイザー登録者数 22名
- ・派遣期間：令和4年8月1日～令和5年2月28日
- ・派遣先：9団体（初級講座3団体、レベルアップ講座6団体）
- ・参加者数：191名

◇地域日本語教育の体制づくり事業（受託）

多文化共生社会の推進、外国人に選ばれる県づくりのため、県内どこにいても日本語学習の機会が得られる環境を構築しました。

ア 地域日本語教育推進員の設置【新規】

事業を効果的に進めるため、日本語教師有資格者で地域実践活動等の経験がある人材を公募・採用し、地域日本語教育推進員として業務に従事しました。

（2名採用、6月から業務開始）

イ 地域日本語教育関係者連絡会議の開催

県内市町村、日本語ボランティア教室等を対象に、日本語教育に係る行政情報の伝達や情報交換、地域日本語教育に関連した研修を実施しました。

内容：事業説明（茨城県女性活躍県民協働課、茨城県国際交流協会）

地域日本語教育に関連した研修

<市町村職員向け>

開催場所：オンライン

開催日：8月18日（木）、19日（金）、23日（火）、24日（水）

参加：14名（8/18）、9名（8/19）、14名（8/23）、16名（8/24）

<日本語支援者向け>

開催場所：日立シビックセンター、小美玉市四季文化館みの〜れ、八千代町中央公民館、牛久市エスカード生涯学習センター

開催日：9月3日（土）、10日（土）、18日（日）、24日（土）

参加：19名（9／3）、23名（9／10）、17名（9／18）、5名（9／24）

ウ 新規学習支援者の養成講座

地域日本語教育人材の確保に資するため、新たな日本語学習支援者の養成講座を全5回、1クールで2回実施しました。

<日本語ボランティア教室がない2市（高萩・行方）を主対象>（オンライン開催）

日時：11／11（金）、18（金）、25（金）、12／2（金）、9（金）

参加人数：34名

<県内全域を対象>（オンライン開催）

日時：1／22（日）午前・午後、29（日）午前・午後、2／5（日）午前

参加人数：33名

エ 地域日本語教育コーディネーターの育成等

地域日本語教育関係者連絡会議におけるワークショップ・ファシリテーターや、ボランティア日本語教室での活動実践等を通して、体制づくり事業の普及や情報収集等を行いました。

オ 基礎日本語教育の普及啓発

日本語が全く話せない外国人のための基礎日本語教育について、県内在住の日本語教師、地域日本語教育推進員、総括コーディネーターからなるワーキンググループを設置し、人材養成及び基礎日本語教育モデルコースの各カリキュラム案を作成しました。

構成員：県内各地の日本語教師5名、地域日本語教育推進員2名、

総括コーディネーター

会議：11／28（月）、12／10（土）、1／17（火）、1／30（月）、2／7（火）

開催場所：オンライン開催

② 外国人相談体制の充実

在県外国人が生活する上での疑問や問題を解決するため、弁護士会などの協力のもと、法律、労働、教育、婚姻など生活全般について年間を通じ相談事業を行いました。

・対応言語：日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タイ語、タガログ語、スペイン語、韓国語、インドネシア語、ベトナム語、シンハラ語【新規】 他

・相談件数：1,155件

<相談件数内訳>

項目	件数	割合
出入国管理・在留カード	129件	11.2%
労働関係・雇用・労災	89件	7.7%
起業・会社設立・貿易	8件	0.7%
結婚・離婚、夫婦、親子、家族	141件	12.2%
国籍・帰化	19件	1.6%
留学・研修	4件	0.3%
医療関係	101件	8.7%
社会保障・年金・保険	34件	2.9%

税金	17 件	1.5%
教育、文化	45 件	3.9%
住居・暮らし、交通・免許	158 件	13.7%
言語・翻訳・通訳	288 件	25.0%
案内・問い合わせ	106 件	9.2%
その他	16 件	1.4%
合 計	1,155 件	100.0%

◇無料弁護士相談の実施

毎月 2 回、高度な法律の相談について、弁護士相談を実施しました。

相談形式：対面方式またはオンライン（Skype、LINE、Messenger）

- ・実施場所：水戸市（茨城県国際交流協会 相談室）
- ・対応弁護士：2 名
- ・実施回数：24 回
- ・相談件数：120 件

◇休日無料法律相談の実施

ア 県南地域における休日出張専門家相談の実施

県南地域において、茨城県弁護士会及び土浦市と共催で、多言語による休日出張専門家相談を実施しました。今年度は茨城県外国人材支援センターとの連携のもと、弁護士だけでなく行政書士・社会保険労務士とも相談ができる体制を整えました。

- ・実施日：令和 4 年 9 月 11 日（日）
- ・実施場所：土浦市役所本庁舎 2 階 研修室 1・2
- ・相談言語：日、英、中、韓、タイ、タガログ、ポルトガル、スペイン、ベトナム、インドネシア、シンハラ語、他
- ・相談対応者：弁護士 4 名、社会保険労務士 1 名、行政書士 1 名、協会相談員 8 名、語学サポーター 2 名
- ・相談件数：48 件
- ・共 催：茨城県弁護士会、土浦市、茨城県外国人材支援センター

イ 県西地域における休日出張弁護士相談の実施

県西地域において、関東弁護士会連合会及び茨城県弁護士会、筑西市と共催で、多言語による休日出張弁護士相談を実施しました。

- ・実施日 令和 4 年 11 月 6 日（日）
- ・実施場所：しもだて地域交流センター「アルテリオ」
- ・相談言語：日、英、中、韓、タイ、タガログ、ポルトガル、スペイン、ベトナム、インドネシア、シンハラ語、他
- ・相談対応者：弁護士 6 名、協会相談員 9 名、語学サポーター 4 名
- ・相談件数：17 件
- ・共 催：茨城県弁護士会、関東弁護士会連合会、筑西市

◇相談員研修の実施

- ・専門的な知識を蓄積することや相談対応についての検証等を目的に研修を実施しました。
- ・相談センター主催研修の実施 10 回（うち 2 回は外部講師による講義）
- ・外部講師：茨城県中央児童相談所 児童福祉専門監
つくば市役所 外国人相談窓口担当者

③ 多文化共生のためのサポーターバンクの運営

多文化共生の地域づくりを推進するため、語学ボランティアや日々の生活へのアドバイスをしてくれる人材を発掘登録することで外国人の支援者拡大を図りました。

◇サポーターバンクの登録推進

外国人支援のための「語学サポーター」、「災害時語学サポーター」、「医療通訳サポーター」、「外国人のための地域生活アドバイザー」や相互理解を進めるための「各国事情紹介講師」、「ホームステイ・ホストファミリー」等の人材登録を推進し、活用を図りました。

<登録活動状況>

区 分	登録状況	活動状況
語学サポーター	31 言語 328 名	10 件 11 名
医療通訳サポーター	20 言語 137 名	0 件 0 名
災害時語学サポーター	21 言語 174 名	1 件 9 名
外国人のための地域生活アドバイザー	60 名	16 件 16 名
各国事情紹介講師	184 名	32 件 56 名
ホームステイ・ホストファミリー	97 名	1 件 13 家庭
合 計	延べ 980 名	60 件 92 名 13 家庭

④ 災害時・緊急時の在住外国人支援体制の充実・強化

災害時・緊急時において、言葉や文化の違いにより避難に支援が必要な外国人へ適切な支援を行うため、災害時外国人支援研修等への参加及び災害時の広域連携体制の強化を図りました。

◇災害時外国人支援研修（県域、関東地域）

ア 令和4年度災害時外国人支援研修（専門研修）

- ・主 催 者：茨城県
- ・実 施 日：令和4年10月14日（金）13：30～16：30
- ・場 所：茨城県市町村会館 1階 講堂
- ・内 容：（講義）「災害時に外国人が直面する課題と行政の役割 Part II」（グループワーク）「災害時の外国人支援の今後に向けて」等

イ 令和4年度災害時外国人支援研修（実践研修）

- ・主 催 者：茨城県
- ・実 施 日：令和5年1月20日（金）13：00～17：00
- ・場 所：イーアスつくば
- ・内 容：多言語支援センター設置運営訓練、避難所巡回訓練等

ウ 「災害時に外国人支援に従事する関係者向けの研修・訓練事業」現地集合型研修

- ・主 催 者：一般財団法人自治体国際化協会
- ・実 施 日：令和4年10月14日（木）10：30～16：30
- ・場 所：東京体育館 第一会議室
- ・内 容：（テーマ）「大規模災害における外国人支援のための広域連携を考える」

◇広域での連携による災害時の支援体制の整備

関東地域国際化協会連絡協議会との協働により、広域連携による災害情報の多言語翻訳シミュレーションを実施しました。

- ・実 施 日：令和4年12月1日（木）

⑤ ウクライナ避難民支援【新規】

茨城県では、ロシアのウクライナへの軍事侵攻に伴い、ウクライナから県内に避難された方々

や避難をお考えの方を県として支援することになりました。当協会では、支援情報窓口の設置、日本語教育支援、日常生活支援、生活相談対応を行いました。(受託)

項 目	内 容	件 数
支援情報窓口	避難民への支援情報の受付	67 件
日本語教育支援	日本語学校授業料の支給	5 件
生活支援①	モバイル AI 翻訳機の無償貸与	5 件
生活支援②	通訳の派遣、翻訳依頼	9 件
避難民からの相談・問合せ	生活相談対応	10 件
	支援情報等問合せ対応	8 件

◇ウクライナ避難民への授乳服支援

県内授乳服メーカーから当協会へ 20 セットの授乳服の寄贈を受けて、県内をはじめ全国のウクライナ避難民希望者に授乳服を届ける呼びかけを協会独自に行いました。

- ・開 始：令和 4 年 5 月～
- ・発 送：7 着

2 グローバル交流・協力の推進

(1) 国際活動情報の提供

① 機関誌やホームページ等を活用した情報提供

県民のグローバル交流を活性化するために、海外の情報や、国際機関、県、各種団体等の国際交流情報を集積・提供しました。

◇機関誌「ふれあい茨城」の発行

協会や民間国際交流・協力団体の活動や、国際理解を推進するための情報を紹介する機関誌を発行しました。

- ・発行時期：年 2 回（9 月、3 月）
- ・発行部数：各 4,000 部

◇ホームページによる情報提供

当協会の事業、及び県内の国際交流活動団体の情報を集積・発信するとともに、随時県内外の国際活動関連の記事やイベント情報等を発信しました。

また、外国語相談センターに新たにシンハラ語が追加されたことにより、当ホームページの多言語情報サイトにシンハラ語を追加する改修を実施しました。【新規】

(2) 国際交流・協力の推進

① 県民の国際交流活動の推進

県、市町村、市町村国際交流推進組織、民間国際交流協力団体等との連携により、県民の国際交流活動への参加を促し、活動の充実を図りました。また、外国人が住みやすい環境を整備するために、関連機関と連携し地域住民と外国人との交流を推進しました。

◇国際交流・協力ネットワーク会議の開催

民間国際交流・協力団体や市町村の国際交流担当者等を対象に活動の情報交換及び研修を実施しました。

- ・開 催 日：令和 4 年 7 月 15 日（金）
- ・場 所：ザ・ヒロサワ・シティ会館分館 集会室 8 号・10 号

- ・対 象：市町村、市町村国際交流協会、民間国際交流・協力団体、日本語ボランティア教室等
- ・参 加 者：109名
- ・内 容：1) 講演
「海外にルーツを持つ子どもの現状と課題
―誰ひとり取り残さない学びのため にできること」
講師：特定非営利活動法人青少年自立援助センター 定住外国人支援事業部
事業責任者 田中 宝紀（たなか いき）氏

2) 分科会

第1分科会：多文化共生ネットワーク会議

「地域で暮らす外国人市民と一緒によりよい社会をつくるために、事例から学ぶ―相談知識と支援方法―」

発表者：行政書士、社会福祉士 青柳 りつ子 氏

第2分科会：日本語ボランティアネットワーク会議

「考えよう！未来の地域日本語教室」

◇茨城県国際交流協会事業ボランティアの登録・活用

協会が主催する各種事業（外国人による日本語スピーチコンテスト等）に協力を得られるボランティアの登録を促進し、協会事業の円滑な運営を図りました。

- ・登録者数 17名

② 国際協力活動の推進

（独）国際協力機構筑波センター（以下「JICA筑波」）と連携し、途上国支援等国际協力に関する事業を行いました。また、海外の自然大災害時の被災国支援やNGO活動の支援を行いました。

◇JICA海外協力隊等、国際協力への参加促進

◇義援金・書き損じはがき等の募集

ア 書き損じはがき等の募集

県民の協力により書き損じはがき、外国コインなどを収集換金し、国際協力を行っている団体の活動を支援しました。

区分		実績	支援団体
書き損じ葉書		1,690 枚	茨城キリスト教学園キリスト教センター NPO 法人シェア NPO 法人日本国際ボランティアセンター 茨城県ユニセフ協会、日本ユニセフ協会
切手	未使用	額面 30,612 円	
	使用済	約 13.8 kg	
外国紙幣		163 枚	
外国コイン		約 8.3 kg	
現金類		26,015 円	

イ 義援金の募集

海外で発生した大規模自然災害について、「NGO茨城の会」と協働で銀行に義援金口座を開設するなど募金活動を行い、支援団体へ寄付しました。

（ア）アフガニスタン地震被災者緊急支援義援金

内 容：「NGO茨城の会」との協働による振込用口座開設

実施期間：令和4年7月15日（金）～ 令和4年9月20日（火）

団体名	現地での活動内容	寄付額 (円)
(特活) ピースウィンズ・ジャパン	地震被害の大きいパクティカ県内での物品及び食料支援	355,649

(イ) パキスタン洪水被災者緊急支援義援金

内 容：「NGO茨城の会」との協働による振込用口座開設

実施期間：令和4年10月1日（土）～令和4年11月30日（水）

団体名	現地での活動内容	寄付額(円)
(公社) シャンティ国際ボランティア会	ハイバル・パフトウンハー州のチャルサダ郡の被災者への食料・生活必需品などの支援	202,261
(特活) 難民を助ける会	ハイバル・パフトウンハー州のノウウェア郡にあるアフガニスタン難民への食料支援	200,000

(ウ) トルコ・シリア地震被災者緊急支援義援金の募集

内 容：「NGO茨城の会」との協働による振込用口座開設

実施期間：令和5年2月10日（金）～令和5年4月10日（月）

(エ) ウクライナ人道危機救援金の募集

日本赤十字社「ウクライナ人道危機救援金」の募金箱を協会内に設置し、集まった募金を日本赤十字社茨城県支部に寄付しました。

実施期間：令和4年3月15日（火）～令和4年9月30日（金）まで

寄 付 額：38,908円

3 グローバル社会へ向けた人づくり

(1) 国際理解を推進するための事業実施体制の整備

① 県や関係機関との横断的連携体制の整備

国際理解を推進するために県や関係機関との横断的連携体制をとるとともに、留学生や在住外国人及びファシリテーター等国際理解をすすめる人材の発掘・育成を図りました。また、教材収集など事業実施体制を整備しました。

◇茨城県国際理解教育推進協議会の運営

当協会、県、県教育委員会、JICA筑波、大学留学生協議会等関係8団体による協議会を運営し事業を効果的に行いました。

・幹事会：令和4年7月28日（木）

・総 会：令和5年3月7日（火）

◇茨城県留学生親善大使の任命

県内の留学生を茨城県留学生親善大使に任命し、国際理解事業や国際交流事業に派遣することにより、県民の国際活動を推進しました。

・任命期間：令和4年6月から2年間

・対 象：県内大学等に在籍する留学生

・令和4年度登録者：21ヵ国66名

・任命式 令和4年6月25日（土）

- ・ワールドキャラバン派遣者数 延べ40名

◇いばらき応援大使の任命【新規】

コロナ禍の入国制限等により留学生数が激減したなか、独立行政法人日本学生支援機構が設置・運営する東京国際交流館（東京江東区）に入居する外国人留学生をいばらき応援大使として任命しました。茨城県留学生親善大使向けの事業に参加し、本県の魅力理解や県民との国際交流を行いました。

- ・任命期間：令和4年6月から令和5年3月まで
- ・対象：東京国際交流館に入居する外国人留学生等
- ・任命式：令和4年6月25日（土）（茨城県留学生親善大使と同時）
- ・令和4年度登録者 6カ国6名

◇国際理解教材収集・貸出しの実施

県内の国際理解教育を実施するため、各国からの教材を収集し貸出しを行いました。

- ・対象：県内学校、国際理解教育を行う民間団体等
- ・教材数：104カ国 884点
- ・収集内容：国旗、民族衣装、工芸品、図書等
- ・貸出実績：21回

◇県産品を使った外国人による外国料理ミーティング【新規】

茨城県留学生親善大使等の有志が中心となり、「クオリテ Lab」(茨城県農業協同組合中央会)において、県産食材を活用した母国料理を手作りした様子を動画撮影し、JA グループ茨城公式チャンネルで公開しました。(茨城県農業協同組合中央会との連携事業)

ア 第1回

- ・実施日：令和4年10月9日（土）10：00～14：00
- ・内容：ベトナムの定番料理（ブンチャー、春巻き、チャーほか）

イ 第2回

- ・実施日：令和4年12月3日（土）11：00～16：00
- ・内容：中国の定番料理（肉団子揚げ、インゲンとスペアリブ煮物、汁海鮮ほか）

◇つくば霞ヶ浦りんりんロードの留学生対象モニターツアー【新規】

茨城県（国際観光課）と共催で留学生を対象としたつくば霞ヶ浦りんりんロードと魅惑の筑波山麓の秋体験サイクリング・モニターツアーを開催しました。参加者は体験した茨城の魅力をSNSで発信しました。

- ・実施日：令和4年10月30日（日）9：00～17：00
- ・ルート：土浦駅～平沢官衙遺跡～いばらきフラワーパーク～柿狩り～酒類蒸溜所～土浦駅
- ・参加者：留学生25名（イラン、インドネシア、ウクライナ、タイ、中国、トルコ、ベトナム、マレーシア、ラトビア）

（2）相互理解・国際理解の推進

① 県民の国際感覚醸成

互いの生活、文化、習慣の違いを認識し、外国人と地域住民が協力して多文化共生地域づくりをすすめられるよう県民の国際感覚を醸成し、相互理解・国際理解を促進しました。事業の実施にあたっては留学生親善大使や県内に在住する外国人の活用を図りました。

◇ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業の実施

外国人講師及びファシリテーター等を学校や生涯学習の場に派遣し、異文化に触れたりワークショップを体験したりするなど国際理解教育の機会を提供しました。

- ・時期：令和4年9月～令和5年2月
- ・場所：県内学校、生涯学習関連団体活動場所等

- ・講師：留学生、国際交流員、県内在住外国人、海外国際活動経験者及び当協会登録ファシリテーター等

＜ワールドキャラバン国際理解教育講師等派遣事業派遣実績＞

区 分		派遣回数	参加者数
派遣先	小 学 校	14 回	1,266 名
	中 学 校	4 回	211 名
	高等学校 (含 中等教育学校)	15 回	2,449 名
	特別支援学校	9 回	180 名
	生涯学習関連施設等	28 回	698 名
	合 計	70 回	4,804 名
派遣講師数		126 名	
派遣コーディネーター数		13 名	

◇外国人による日本語スピーチコンテスト

在住外国人の日本社会への意見などを聞くことで県民との相互理解を図るとともに、外国人に日本語による意見発表の機会を提供することで日本語学習意欲を醸成しました。

- ・開催日：令和5年2月18日（土）
- ・場 所：ザ・ヒロサワ・シティ会館 小ホール
- ・発表者：県内在住外国人15名
- ・本 審 査：知事賞、県議会議長賞、教育長賞、ひばり賞、特別賞（審査員7名により審査）
特別荣誉賞 日本語ボランティア賞、若人賞

◇世界文化セミナーの実施

本県在住の外国人を講師として迎え、文化・社会について話し合いをする英語によるセミナーを実施しました。※午後クラスー対面 夕方クラスーオンライン開催

- ・開催日：春コース：4月～7月（水曜 午後クラス・夕方クラス 各8回）
秋コース：10月～2月（水曜 夕方クラス・金曜 午後クラス 各8回）
- ・対 象：県民

春 期	令和4年4月13日（水）～7月14日（水） 全8回 （参加者 午後クラス20名、夕方クラス16名）
秋 期	令和4年10月5日（水）～令和5年2月10日（金） 全8回 （参加者 午後クラス20名、夕方クラス21名）

◇フランス語入門講座【新規】

若い世代の県民に対し、語学学習から多文化共生社会づくりへの誘いをねらいとして、ネイティブ講師が国連公用語のひとつフランス語の講座を開催しました。

- ・開催日：7/27（水）、29（金）、8/3（水）、5（金）、10（水）、12（金）
各日ともに10：00～11：30
- ・参加者：高校生7名、大学生1名

② 世界で活躍する人材の育成

特に若い世代の活動を支援し、将来世界で活躍する人材の育成を図るために、海外研修や国際体験を促進するための事業を実施しました。

◇日本発/世界発 青年のメッセージ

茨城県高等学校国際教育研究協議会が実施する国際教育弁論大会にあわせて、当協会が留学生によるシンポジウムを主催することで、日本の若い世代へのメッセージを発信しました。

- ・開催日：令和4年12月16日（金）
- ・場所：茨城県立図書館（水戸市）
- ・対象者：県内高校生及び県民
- ・内容：
 - 第1部 第59回国際教育弁論大会（発表者10名）
 - 第2部 留学生シンポジウム
 - 3か国からの留学生の日本語によるトークと日本の高校生と若者に
向けたメッセージの発表
 - 留学生3名：中国、ベトナム、コスタリカ
 - コーディネーター：花沢 典行 氏（茨城県立水戸第一高等学校教諭）

◇インターンシップ等の受け入れ

日本人学生、外国人留学生等を対象に当協会においてインターンシップ研修を実施しました。

ア 第1回

- ・受入人数：立教大学生、東洋大学生 各1名（県女性活躍・県民協働課インターンシップ生）
- ・実施日：令和4年8月5日（金）（女性活躍・県民協働課受け入れ3日間のうちの半日）
- ・内容：協会の事業概要の説明、協会職員との意見交換等

イ 第2回

- ・受入人数：勝田中等教育学校 2名
- ・実施日：令和4年8月18日（木）
- ・内容：国際交流に関わる仕事の体験、国際経験豊富な職員の講話等

③ 留学生の多様な社会体験機会の提供

留学生の活動を支援することで、将来地域社会に貢献し本県との架け橋となる人材の育成を図りました。

◇クエスト茨城留学生研修

県内で学ぶ留学生を対象として、茨城県に立地する企業、文化施設、史跡などを訪問し、茨城県についての理解を深めました。

ア 第1回

- ・実施日：令和4年7月9日（土）
- ・参加人数：33名
- ・訪問場所：黒澤醤油店、アクアワールド茨城県大洗水族館

イ 第2回

- ・実施日：令和4年10月15日（土）
- ・参加人数：29名
- ・訪問場所：西金砂そばの郷 そば工房、袋田の滝、豊田りんご園

◇茨城ふるさとファミリー事業

留学生や在県外国人が当協会登録のボランティアの家庭にホームステイをすることをきっかけに継続的交流をし、「茨城の家族」を作る場を提供しました。

- ・実施日：令和4年10月1日（土）・2日（日）
- ・対象者：茨城県留学生親善大使等18名、外国人指導助手等10名（計10カ国28名）
- ・受入実績：22家庭

4 上海事務所運営事業

上海市内全域を対象としたロックダウン以降、コロナの感染拡大により中国各地でのイベントが相次いで中止または延期されておりましたが、ゼロコロナ政策の緩和により、徐々にイベントも再開されるようになりました。

一方で、昨年度にも増して、本県の産業拡大に向けた中国企業の誘致に注力しており、中国地方政府や現地企業との連携を進めています。

(1) 本県産業拡大支援

見本市への出展等により、本県の観光物産、県産品や茨城空港のPRを実施したほか、対日投資促進に向けたPR活動を実施しました。

【主な出展行事等】

①日本（山東）輸入商品博覧会

- ・開催日：令和4年7月15日（金）～18日（月）
- ・場所：済南国際会展中心（山東省済南市）
- ・内容：県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施

②西安シルクロード国際旅博覧会

- ・開催日：令和4年8月14日（日）～18日（木）
※西安市のコロナ感染拡大により、16日以降はオンライン開催になりました。
- ・場所：西安国際会展中心（陝西省西安市）
- ・内容：県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施

③日中国交正常化50周年記念レセプション（青島総領事館主催）茨城県ブース出展

- ・開催日：令和4年9月6日（火）
- ・場所：海天大酒店 海天宴会庁（山東省青島市）
- ・内容：県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施

④上海ジャパnbrランド

- ・開催日：令和5年2月4日（土）～5日（日）
- ・場所：上海ららぽーと金橋店
- ・内容：県内観光地やパンダ誘致のPRを実施

⑤成都ジャパnbrランド

- ・開催日：日時 令和5年3月25日（土）～26日（日）
- ・場所：成都伊藤洋華堂双楠店
- ・内容：県内観光地や県産品（笠間焼等）のPRを実施

(2) 企業のビジネス活動への支援

商談会への合同出展、現地バイヤーとのマッチングや中国の経済事情の調査等を実施し、県内企業の中国における販路開拓を支援しました。

【主な出展行事等】

①笠間焼香炉製作アンケートイベント

- ・開催日：令和4年9月13日（火）～15日（木）
- ・場所：上海環球金融中心（上海市）
- ・内容：笠間焼香炉（向山窯オーダーメイド）に関する嗜好調査

②第5回中国国際輸入博覧会

- ・開催日：令和4年11月5日（土）～10日（水）
- ・場所：国家会展中心（上海市）
- ・内容：県内企業（製造業）の代理出展対応

（3）友好交流活動への支援

中国事情に関する情報提供を実施しました。

（4）上海ネットワーク構築事業

① 上海茨城県人会運営協力

上海市等に在住している本県出身者のネットワークを新たに茨城のPR組織として位置付け、中国人との交流を図ることで、観光インバウンド促進や県産品の知名度向上、対日投資促進につなげています。

② 上海茨城留学生協議会運営協力

本県への留学経験者のネットワークを新たに茨城のPR組織として位置付け、上海茨城県人会と連携した活動を展開しています。

（5）情報収集・提供事業

中国人向けに、ソーシャルネットワーク「ウェイボー微博」「ウィーチャット微信」を活用した情報発信を実施しました。

- ・微博フォロワー数：103,087人、微信フォロワー数：7,718人（令和5年3月末現在）